

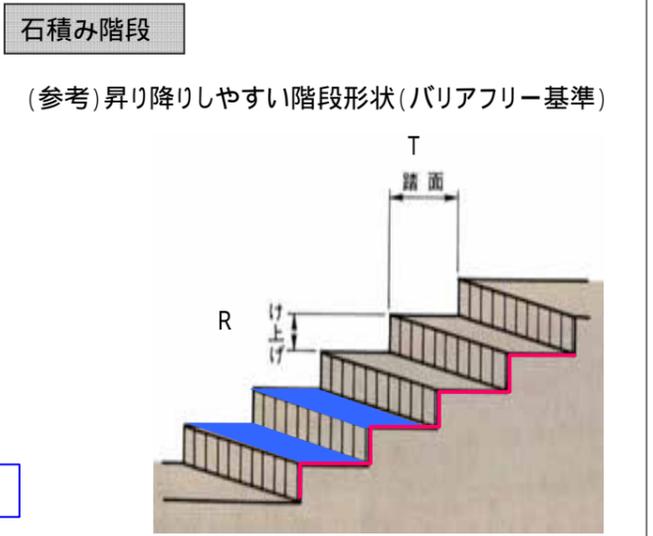
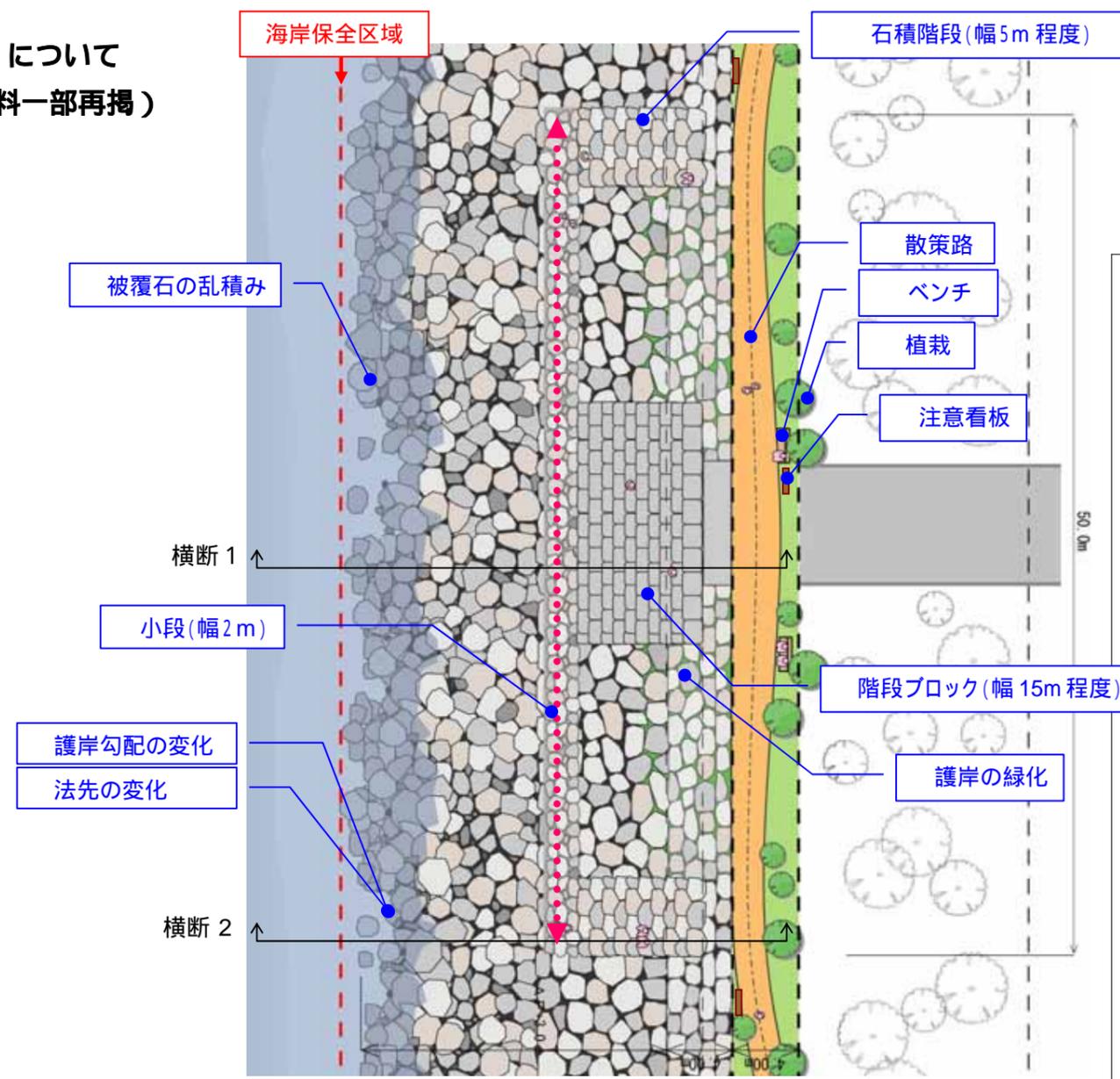
第2期まちづくり地区護岸バリエーション(50m)について
(第28回護岸検討委員会資料一部再掲)

【整備コンセプト】 人の水際利用の利便性に配慮した空間
(小段とアクセスしやすい階段)

- ・背後地からのアクセス道部分(中央部)に階段ブロックを配置
- ・小段を設け、水際での連続的な利用に配慮

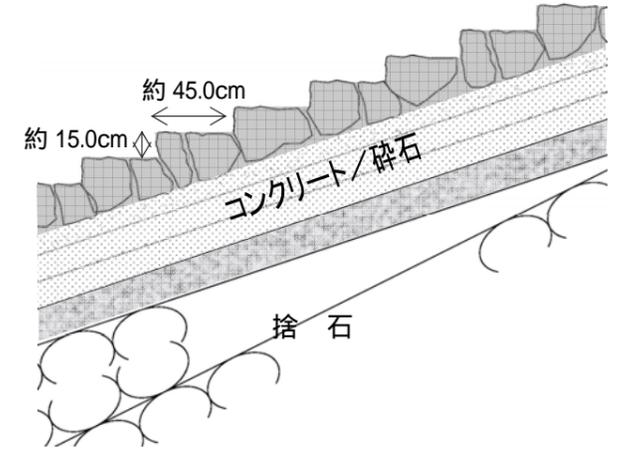
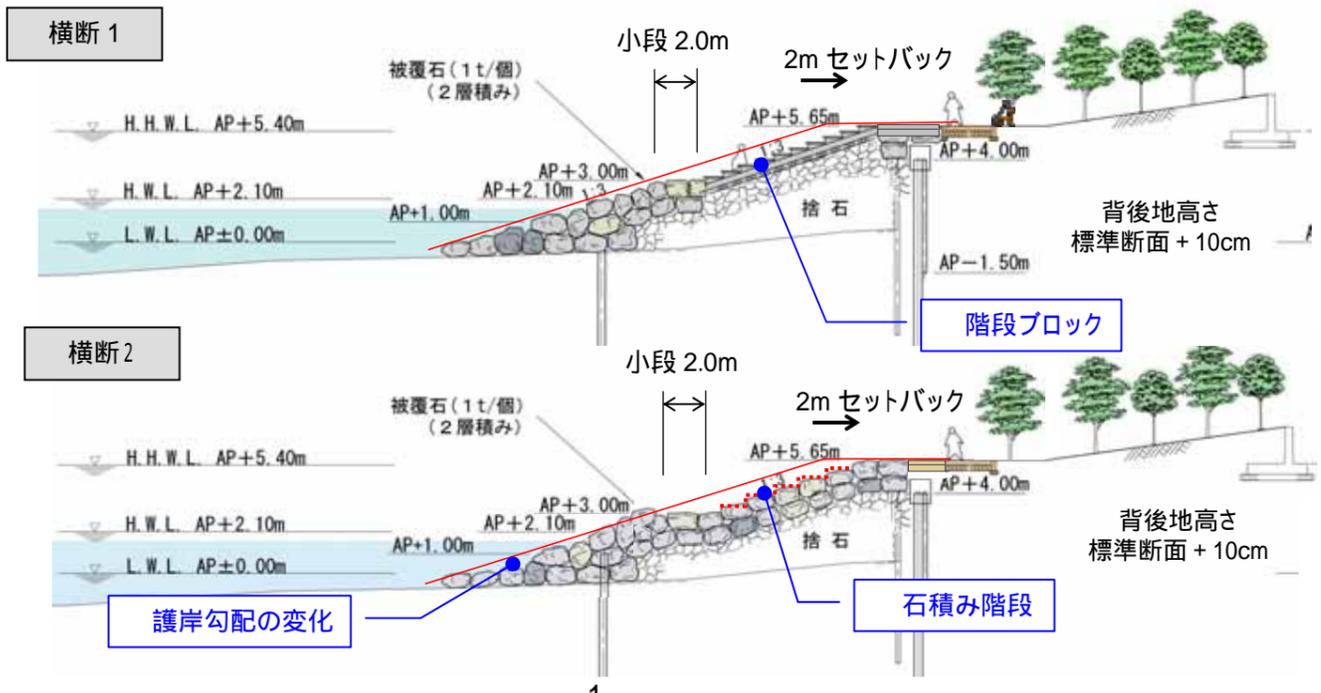
- 【導入した機能】**
- 散策路 ベンチ 天端の植栽
 - 安全対策の施設(注意看板)
 - 水際へのアプローチ(石積み階段2箇所、階段ブロック1箇所)
 - 水際の歩行空間(小段) 護岸の緑化
 - 護岸勾配(潮間帯)の変化 法先の変化
 - 被覆石の乱積み

整備事例(習志野茜浜)



勾配	成人					
	2R+T=65		2R+T=60		2R+T=57	
	R	T	R	T	R	T
1:1.0	21.7	21.7	20.0	20.0	19.0	19.0
1:1.5	18.6	27.9	17.1	25.7	16.3	24.4
1:2.0	16.3	32.5	15.0	30.0	14.3	28.5
1:2.5	14.4	36.1	13.3	33.3	12.7	31.7
1:3.0	13.0	39.0	12.0	36.0	11.4	34.2

出典:川の親水プランとデザイン
(財)リバーフロント整備センター



階段ブロックについて

階段ブロックについては、構造の安定性、利用者の安全性、景観、三番瀬のオリジナリティに配慮し、以下に示したデザイン案を基本に整備する。

基本的考え方

- ・踏みに滑り止めの溝を設ける等、安全な昇降に配慮する。
- ・自然石（1t石）との調和に配慮し、階段ブロックのコンクリート面を少なくするため、ブロック表面に石張り（自然石または石材平板ブロック等）を一部に採用する。
- ・中央部に中詰めできるタイプのブロックを採用し、自然石によって座れる場を創る等利用性に配慮する。

